

産婆も来て居りますし、産室も産具も整ひました。孤燈の下で産婆と二人今か今かと待つて居りました。がどうした事が陣痛がいと弱くて、はかばかしよう生れそうにもありません、いつもの様でないと案じて居りますと主人が歸られました。一步を誤れば死去三途、實にや勇士の戰場に臨んだ決心でと昔から申しますが、それでも頭が暈なもので御座いますから、よい事ばかりは考へないで、若し萬一此儘に終らんかあとに残りました四人の兒がなど、思ひますと胸は一杯になつて参ります、陣痛は次第にはげしくなります。産婆も大抵十二時頃御誕生で御座いませうと申しました。十二時を樂みに堪えがたい苦痛を堪えて居りました。が中々生れそうにもありません、夜は深くとふけ行きて、寒さは身に沁むばかりの眞夜中に、車夫を起して、醫者を迎にやりました其のあとで、一しきり烈しき陣痛と共に玉の様な男子は勇ましく初陣の初聲を擧げました。一家大喜び今迄の慘憺たる光景はあとを絶ちました、俄かに春めきました。私の氣分もすがく

として参りました。

### 醫師の選擇につきて

母 親

子供を育てまするに、平素病氣にかゝらぬ工夫をして、常に健體を保たしめる事にはあらゆる力を注がなければなりません、それでもどうかしますと、病氣にかゝる事がありまして、子供専門醫はいつても間に合ふ様にしておかないと困る事が御座います。過ぎし年の事、只今五歳になります男兒が不圖した事から發熱して、つい近所のお醫者に診て頂きました。素人でさへわかる全く麻疹で御座いました、其の外の子供も皆かゝりましたが、此の兒ばかりは熱が大變高くて、咳もはげしく、コンコンの響が恐ろしく胸にこたへる様で、奥の間に就癖させましたのが、玄關に見舞に來らるゝ人の耳にすぐ聞えるので、皆様が眉をひそめられました。

或は實布丁利亞になりはすまいかと、私も痛く心配いたしました。二日三日も経ても、一向熱が下らないで、トートー五日目位に四十度以上の熱になりました。サー私もこゝなつては、ウカ／＼晝間でも學校などへ出て居られません。ぬ事とは思ひながら、學校の方を休みまして専念介抱いたしました。

醫者は一日に一回か二回は来て下さいましたが、餘り咳が下火にならぬので、なんで御座いますか、かと聞きましたらば、實布丁利亞です、直ぐ血清療法をいたします。ついでには他のお子様も皆同様血清療法をいたしますと、いきまき荒き其の見脈に一時は驚きました。待てしはしとといろく胸を押して鎮め、「しばらくお待ち下さいませんか主人も留守で御座いますし」と言ひも了らぬ中に「其れでは早く電話で御主人をお呼びなさい。」と急ぎ立てられて、私も一寸マゴツキました。何だか心の奥に不安の念が往來して仕方が御座りません、そこでやがて言葉を改め「失禮で御座います。が、しばらくお待ち願ひまして、以前から世話

になつて居りました小兒専門醫が御座いますからすぐ電話でもお迎ひいたしますから、ドーズお二人御相談の上治療を願ひます」と申しました、醫者も餘程せきこんだ御様子で早く御呼びなさいと中々言葉が荒々しい。それでも私の度胸は全くすはりました。モ一少しもマゴツキません。今迄の様子によりてこの醫者を信任するの念は薄らぎました。そして悔みました。一寸迎へて御親切で手輕ですむ位を重寶で頼んだ自分の淺薄を。事此處に至りてはぐず／＼して居られません、早く敬遠主義でも取てよき専門醫の法療を乞はなければ病床に伸吟して居ります愛兒のいかがあらんと。それから醫者に向つて言葉も強く「恐れ入りますが先生しばらくお引取を願ひます、そして他の専門醫をお迎へしまして御診察が御座いましたらば便をお宅に差し上げますから、お待ちせする事のいと心苦しう御座りますから是非ドーズお引取をと殆んど無理に迫りました。醫者もトートこんまけしてソレデは歸宅して薬を調合しておきますと歸られました。

「マリーヤット一段落を告げましたが、早速又小兒科専門醫をお迎へしなければならぬ。皆様かよいとお仰やる方の御診察を乞ひました。すぐ来て下さいまして、丁寧に御診察下さいましたが『ア、コレハ肺炎ですよ肺炎!、質布的利亞などの疑もありません。早く胸部をお冷しなさい氷でドンく冷さなければ今は左肺がわるいのですが右肺も扱されます。薬は以前の醫者もある事で御座いますから、私は従で、そしてそれを主任醫として相談の上調合しますから。一寸筆と巻紙との仰せに。すぐ以前の醫者に手紙を認められて、これを持参して薬を頂げよと、仰ありてお歸になりました。

「マリーヤかつたと思ふ所へ主人も歸宅しまして其の顛末を話しそれから病人には残る方なく手當して主人に依託して、手紙を以て醫者の家に行きました。

「醫者の赤面するのを見るのが辛らさに、ドーズお薬をと瓶をおいて用途にと出て行きました。

「夕方醫者自らで薬を以てお見舞に来て下さいました。

した。

それより二三度見舞にと参りましたが何となく、無駄な様な感じで迎へました。それより一方専門醫に来て頂きまして、夜晝の別なく吸入をかけるやら、濕布をするやら殆んど寢食をわすれて、看護しました其しるしあらはれましたか、さしもの大病人も一週間計りの後追々快方に向ひました。今日では大變に丈夫になつて居ります。

◎同窓會の利用

(下田歌子)

私が同窓會について希望する處が御座います。それは同窓會を以て單に娛樂のみに供しない事で御座います。勿論久振りに知り合ひの人々が會合しまして、お互に理窟をいひ合ふ様な事計りでは、何の効能もありませぬ、ですから、出来るだけ愉快に、又楽しく一日を暮すのも必要であります。利用の仕様によつては面白い趣味のある會合が、同時に利益のある事はいくらもありませぬ、例へばもう既に一家の主婦となつて居らるゝ卒業生が、新に卒業した人々に對して、家庭を料理する上の苦心談を語るとか、或は母となつて居る方が、青兒の上に經驗談をするとか、又は御自身が兼ねて失敗談をするとか、又この機會を利用して母校の教師に種々の質問をするとか利用のしかたはいくらもあるだらうと考へます。